

一人の勇気ある行動が導いた日韓交流

日本に関心を持つ韓国人高校生 30 名が来日研修

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）関西国際センターでは、韓国で日本語を学習し、日本の社会文化に関心を持つ韓国の高校生 30 名を日本に招へいし、日本語及び日本の文化・社会への理解を深めると共に、日本の同世代の青少年との交流を行います。これは、去る 2001 年に東京 JR 新大久保駅で線路に落ちた乗客を助ける為に事故死した韓国人留学生：李秀賢（イ・スヒョン）氏の勇気ある行動を顕彰する為に毎年実施しているもので、平成 22 年度で第 10 回目を迎えます。

■ **研修期間** 2011年1月17日（月）
～1月27日（木）11日間

■ **研修参加者** 韓国の高校生 30 名

■ **研修内容・訪問場所**



これまでに学んだ日本語を活用しながら、日本に対する理解を深め、相互交流に役立つ日本語をさらに学ぶカリキュラムになっています。日本の高校を訪問し、同世代の日本人との交流を行い、ホームステイをすることで、日本の一般家庭・日常生活を体験します。また、日本の伝統文化（合気道）体験や各地への研修旅行を通して、日本の多様性を学びます。

| | |
|----|------------------------------------|
| 東京 | 新大久保駅にて李秀賢氏追悼式／浅草寺／パナソニックセンター見学 |
| 京都 | 清水寺／金閣寺／和菓子作り体験 |
| 大阪 | 日本語授業／大阪府立佐野高等学校訪問／ホームステイ体験／日本文化体験 |
| 広島 | 宮島散策（厳島神社など）／原爆ドーム・広島平和記念資料館見学 |

共同主催：国際交流基金、（社）韓日協会、高麗大学日本研究センター
（社）釜山韓日文化交流協会、在济州日本国総領事館
協賛：ANA（全日本空輸株式会社）

お問い合わせ先：国際交流基金 関西国際センター 教育事業チーム 担当：富岡
電話：072 - 490 - 2601 FAX：072 - 490 - 2801 E-mail：Naoko_Tomioka@jpf.go.jp